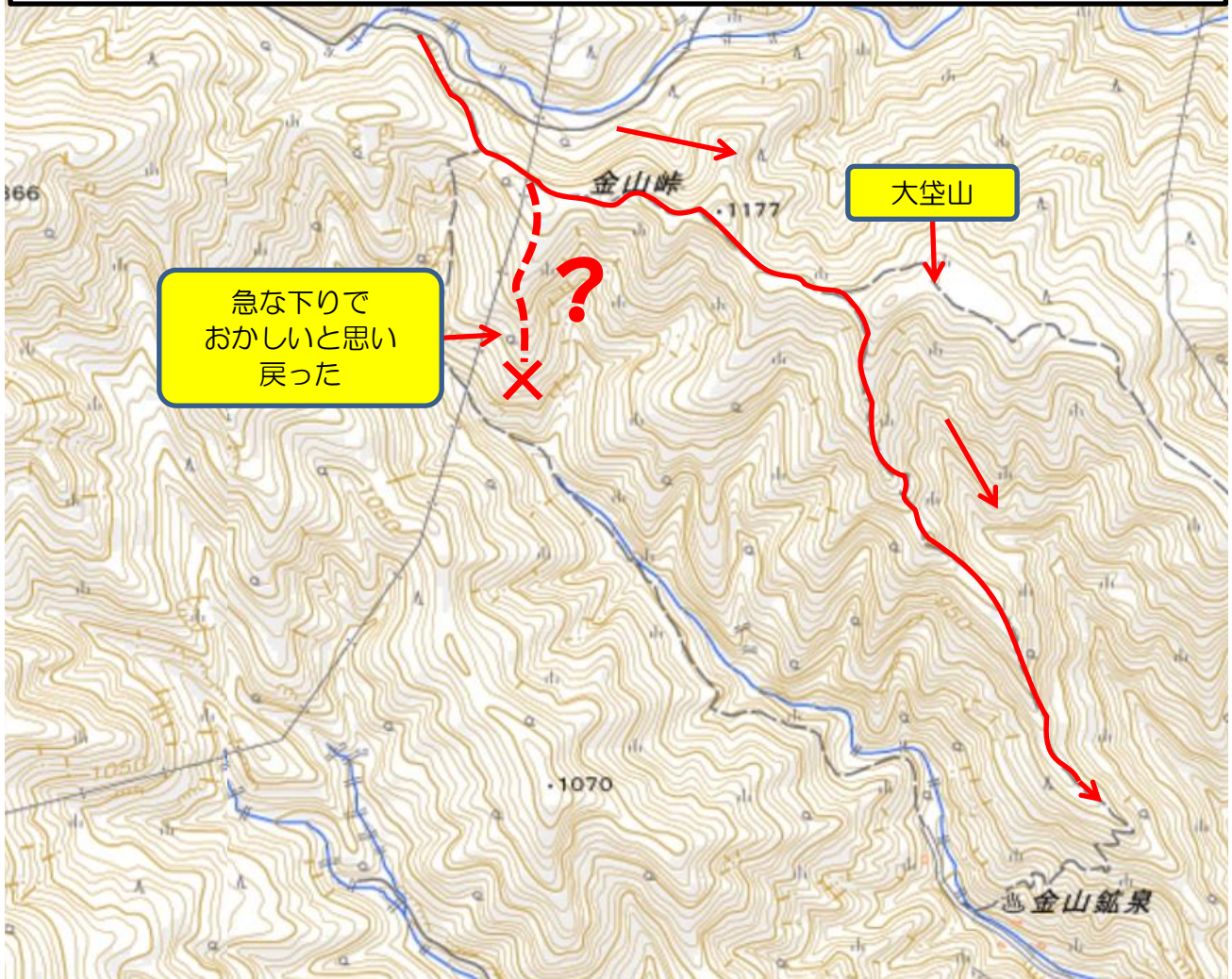


大笠山(おおぬたやま)道迷い(2016年12月)

目的の山は稜線上にあり、歩いている道は下っていく。「これは違うな？」と思い引き返したところ目的のルートがあった。



解説

この鉄塔の先の道を右(南)に進んで、尾根を降りている時に「こんな方向に、こんな降りるかな？」と違和感を感じました。地図を見ると、ルートは**大笠山(おおぬたやま)**へ向かう道は緩やか。こりや違うな！鉄塔の近くまで戻ってみると、東へ向かう道がありました。

南方向への道の方がハッキリしていたので、なんの迷いもなく進んでしまいましたが、たぶん作業道ですね。危ない危ない...汗(HP参照)

地図の先読みができていたからこそ「あれっ？おかしい？」と思ったときの次の行動が適正にできた。またおかしいと思った根拠も適正で正しい判断の「来た道に戻る」という行動にもつながっている。

戻るのがめんどくさいと思った場合や夕暮れ近くで焦った気持では、「このまま進んでも沢に道があるはずだ！」という判断をして更に下ってしまうかもしれない。地図をよく見ると尾根の末端は等高線が狭くなっており尾根の斜面が急なことが分かる。急な斜面では落ち葉等でスリップして滑落する危険も想像できる。

「あれっ？おかしい？」と思った時が「道迷い」と「遭難」のターニングポイントと思ってほしい。そして「根拠なく進む行動」が遭難に繋がっているという現実に向け、安全登山を心がけてほしい。